

業務核都市“八王子”の緑豊かな丘陵地に広がるアーバンビレッジ—八王子みなみ野シティ

八王子みなみ野シティの街づくり

八王子みなみ野シティは、美しく豊かな自然、継承される風土を活かした街づくりを通じて、人々が求める確かな快適さを実現します。

アーバンビレッジ

八王子みなみ野シティは、高度な都市性とリゾート性を共に享受できる街「アーバンビレッジ」をコンセプトとし、ゆとりある暮らしが息づく街づくりを進めています。

地区の概況

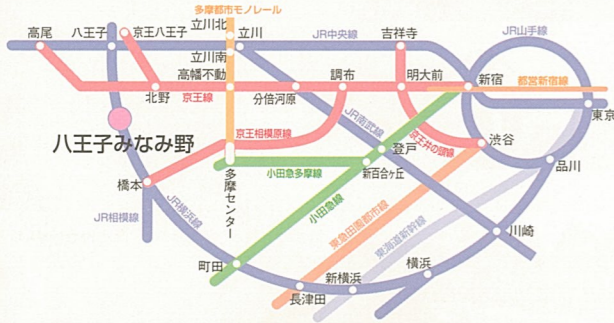
八王子みなみ野シティは、東京都心から西方40km、八王子市中心部の南方2km～5kmに位置しています。緑豊かな多摩丘陵の主尾根が地区南部を走り、また多摩川水系の浅川流域である湯殿川、その支流の兵衛川の源流部を地区内に含む標高110m～210mの丘陵地帯です。

事業の目的

八王子みなみ野シティは、東京都長期計画及び八王子市基本構想・基本計画等に基づき、「都市の自立性の向上」と「緑豊かな自然と調和のとれた市街地の形成」を図るため、都市再生機構が土地区画整理事業（南八王子土地区画整理事業）により整備を進めています。

アクセス

八王子みなみ野シティには、地区内を通るJR横浜線に平成9年4月八王子みなみ野駅が開業し、東京都心だけでなく横浜方面、東海道新幹線へのアクセスが便利です。また、京王線の利用も可能です。道路ネットワークでは、国道16号からダイレクトに結ばれ、中央自動車道八王子I.C.まで約4kmという好立地にあります。さらに、首都圏中央連絡道路及び国道16号バイパスへ連絡する都市計画道路3・3・2号線（八王子南バイパス）が都市計画決定され、ますます広範で密度の高いネットワークが形成されていく予定です。



事業の経緯

- 昭和60年12月10日 市街化区域及び土地区画整理事業の都市計画決定
- 昭和63年10月8日 施行規程及び事業計画認可
- 平成3年6月14日 第1回事業計画変更認可
- 平成3年6～10月 仮換地の供覧
- 平成5年8月10日 用途地域変更及び地区計画の都市計画決定
- 平成8年2月29日 第2回事業計画変更認可
- 平成8年5月31日 用途地域変更の都市計画決定
- 平成9年3月30日 街びらき
- 平成9年4月1日 JR横浜線八王子みなみ野駅開業
- 平成12年5月11日 八王子みなみ野駅西口駅前広場開設
みなみ野大橋開通
- 平成13年3月26日 第3回事業計画変更認可
- 平成14年2月6日 用途地域変更及び地区計画変更の都市計画決定
- 平成17年10月4日 第4回事業計画変更認可
- 平成19年1月15日 第5回事業計画変更認可

クラブライフ交流都市

コミュニティを育むことも大切なテーマです。八王子みなみ野シティは、人々が趣味や地域に根ざした交流を自由に行うことができる、クラブライフ交流都市を提案しています。



「みなみ野自然塾」での田植え

環境共生都市

環境にやさしい街づくりが、次世代に向けて一層重要なテーマとなります。八王子みなみ野シティでは、地形を活かした雑木林のある公園、再生したホタルが飛び交う水辺、水循環再生システムなど、環境と共生する街が着実に形となって現われています。

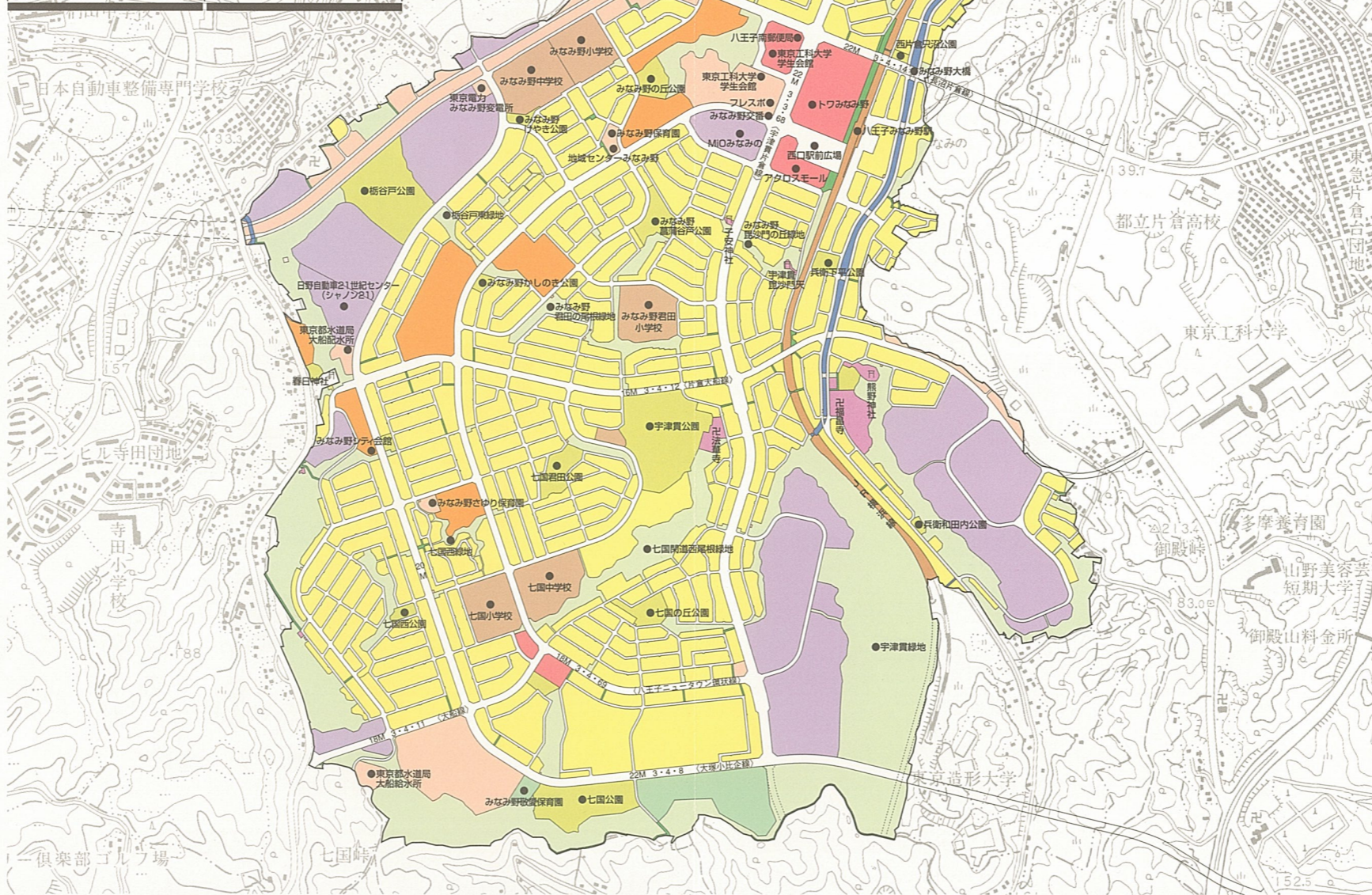


ホタル沢（宇津貫緑地）

種別	面積(ha)	比率(%)	凡例
公道	70.2	17.8	道歩
公園	23.7	6.0	
緑地	59.4	15.1	
河川・水路	3.2	0.8	
計	156.5	39.7	
教育施設	10.4	2.6	
センター施設	6.0	1.5	
業務等施設	41.3	10.5	
その他施設	25.5	6.5	
緑地施設	3.8	1.0	
寺社・墓	1.9	0.5	
鉄道	3.6	0.9	
小計	92.5	23.5	
計画住宅用地	10.4	2.6	
一般住宅用地	134.9	34.2	
計	237.8	60.3	
合 計	394.3	100.0	

※土地利用計画は、将来変更される場合があります。

計画人口 28,000人 計画戸数 8,650戸



みなみ野自然塾

八王子みなみ野シティでは、緑豊かな環境に親しむとともに、この地に伝わってきた里山の知恵や技術を学びながら、自然からの恵みも楽しむ活動「みなみ野自然塾」が行われています。自然を介したさまざまな活動を通じて、以前からお住まいの方々と新しくみなみ野にお住まいになった方々が出会い、コミュニティが生まれ、みなみ野ならではの新しい暮らしのかたちが培われています。

交通施設

●鉄道

地区内を通るJR横浜線に平成9年4月八王子みなみ野駅が開業し、都内主要部や横浜方面へのアクセスは、たいへん便利になりました。また、地区内への「多摩都市モノレール」の延伸構想があります。



八王子みなみ野駅

●道路

地区内には、幹線道路として、6本の都市計画道路が整備・計画されており、国道16号・北野街道などと結ばれています。また、将来圏央道につながる都市計画道路3・3・2号線（八王子南バイパス）が都市計画決定され、ますます広範で密度の高いネットワークが形成されていきます。



みなみ野大橋

住宅用地

戸建住宅を中心とした、ゆとりある良好な住環境が形成されるように計画しています。また、計画住宅を適宜配置し、住宅需要の多様化に応じたさまざまな住宅を供給しています。



戸建住宅地の街なみ

教育施設・生活利便施設

教育施設は、小学校3校・中学校2校があります。また、居住者の暮らしをより快適にする生活利便施設として、八王子南郵便局、みなみ野保育園・地域センター・みなみ野等が開設されています。



みなみ野小学校

誘致施設等用地

地区内の誘致施設等用地は、「八王子・立川・多摩業務核都市基本構想」（平成14年11月東京都）により業務施設集積地区に位置づけられています。ここでは、複合多機能都市の形成をめざし、企業の研究所・研修所、生産機能を持った施設等、多様な施設の立地を図ります。



日野自動車21世紀センター(シャーン21)

センター地区

センターは、八王子みなみ野駅前に配置されており、八王子南部拠点の「顔」として、また、業務核都市の業務施設集積地区として、商業・業務・文化・サービス等多様な都市機能の集積を図ります。



MIOみなみの

供給処理施設

上水道は、東京都公営水道として、地区内の配水所より給水されます。下水道は、雨水と汚水を分離して排水します。雨水は雨水幹線に集め、公園緑地内に設ける3ヶ所の調節池で放流調整し、兵衛川及び湯殿川に放流します。汚水は流域下水道幹線を経て、浅川処理場で処理されます。



東京都水道局大船配水所

環境共生を軸とした街づくり

八王子みなみ野シティでは、地区固有の自然を活かす様々な試みを行い、環境共生都市の実現を進めています。

緑環境空間の形成

八王子みなみ野シティでは、公園緑地の土地利用比率を20%以上確保し、それらを次のような構想の基に体系化することにより、緑の環境空間を形成します。

3つの「都市環境軸」

「地域の緑環境軸」「ニュータウンの緑環境軸」「兵衛川水系軸」の3つの都市環境軸により、緑豊かな街づくりを実現させていきます。

五山五丘三溪一流構想

五つの山、五つの丘、三つの溪(谷水)、一つの流れ(兵衛川)を持つ八王子みなみ野シティの優れた自然環境の持ち味を活かしたストーリー性のある公園・緑地の整備を進めています。

- 五山 ● 公園
- 五丘 ● 緑地
- 三溪 ● 緑地的施設用地
- 一流 ●

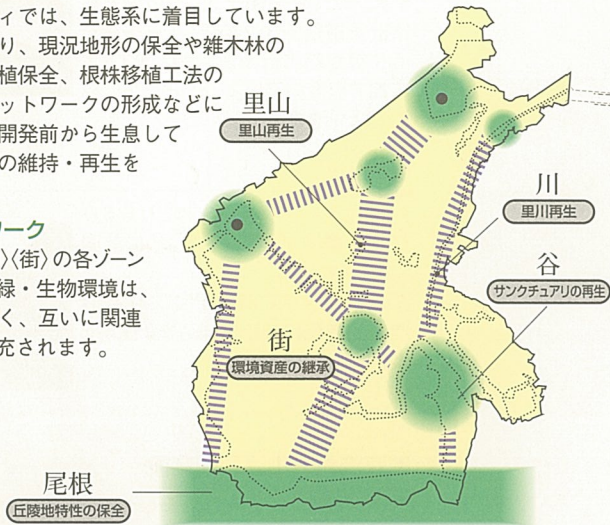


生態系の維持・再生

八王子みなみ野シティでは、生態系に着目しています。表土の保全はもとより、現況地形の保全や雑木林の再生、大型樹木の移植保全、根株移植工法の採用、ビオトープネットワークの形成などに取組むことにより、開発前から生息していた生物の生息環境の維持・再生を進めています。

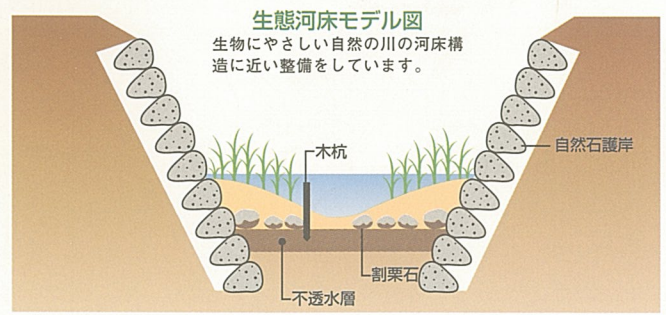
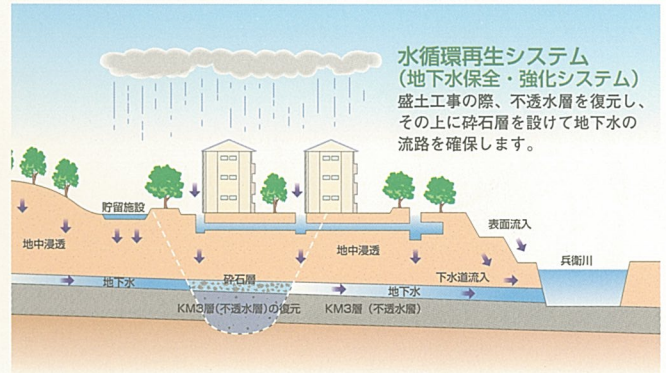
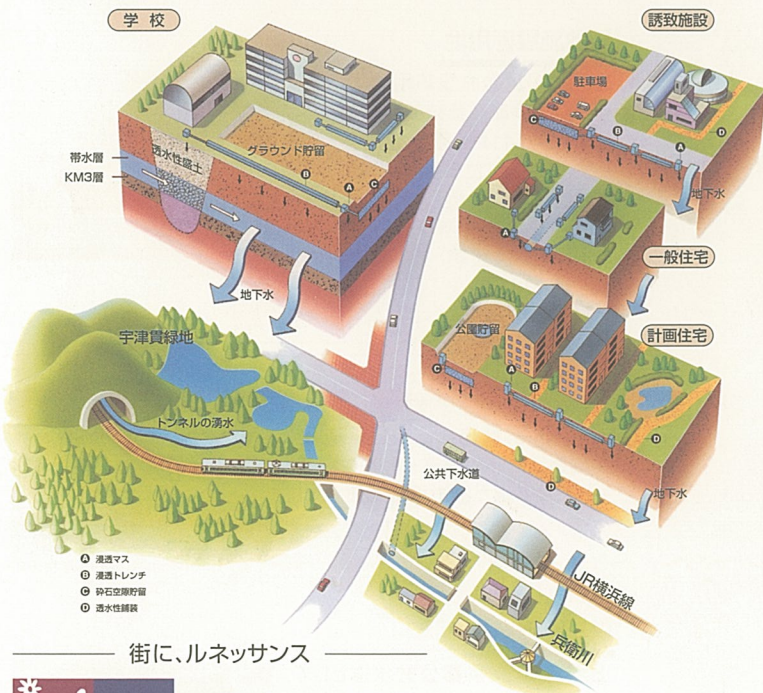
ビオトープネットワーク

〈谷〉〈尾根〉〈里山〉〈川〉〈街〉の各ゾーンで個別に形成される緑・生物環境は、孤立したものではなく、互いに関連しあうことにより拡充されます。



水系の維持・再生

八王子みなみ野シティでは、水循環再生システムを導入し、豊かな水辺環境を形成します。これは、地下水脈の再生、校庭等への雨水貯留施設の設置、透水性舗装の採用、雨水浸透柵の整備などを行うことにより、兵衛川の水量を還元させるとともに、降雨時の雨水の流出を抑制します。また、親水護岸の設置や生態河床を導入することにより、水生生物が生息できるような環境の整備を進めているものです。



「UR」は都市機構 (Urban Renaissance Agency) の英語略称です。

独立行政法人 都市再生機構

東日本支社 南八王子開発事務所

〒192-0916 東京都八王子市みなみ野1-3-1 TEL 042-636-2192

※このパンフレットは、平成19年3月における八王子みなみ野シティの概要(予定含む)をご紹介しているものです。計画の実施にあたっては、今後内容を変更する場合があります。